

## 研究指導論文・研究指導論文要旨の作成要領

研究指導論文試験を受験しようとする者は、下記の作成要領をよく読んで、

「研究指導論文」と「研究指導論文要旨」2部 を、「所定の書式で」、「所定の期限までに」、

作成し、経済学研究科 学部・大学院教務係へ提出してください。「所定の書式で」、「所定の期限までに」提出できないときは、研究指導論文等は受理できません。書式・期限を厳守してください。

提出期限・・・平成22年1月20日(水) 17時(昼間主コース)  
20時(夜間主コース)

受付期間は次のとおりです。(土日、祝日、年末年始12月29日(火)～1月3日(日)を除く)

昼間主コース 平成21年12月1日(火)～平成22年1月20日(水) 各日共17時まで

夜間主コース 平成21年12月1日(火)～平成22年1月20日(水) 各日共20時まで

平成22年1月15日(金)のみ12時まで

\*12月28日(月)、1月4日(月)～6日(水)は冬季休業期間のため17時までの受付

\*1月15日(金)は翌日がセンター試験のため夜間主コースも受けは12時まで

### I. 研究指導論文の作成要領

(パソコン使用の場合)

1. 紙はA4サイズ・無地・白色で表のみを使用してください。
2. 縦位置、横書きで、1ページは、**38文字×30行に設定(プリントアウトをした時にチェックすること)**してください。
3. 「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」「参考文献」の合計ページ数が35ページ以上110ページ以内になしてください。「扉」と「目次」はページ数には入りません。
4. 論文は、日本語で記述してください。ただし、引用部分等については、この限りではありません。

(手書きの場合…所定の用紙は経済学研究科 学部・大学院教務係で配布します)

1. 所定の用紙(1ページ400字詰)で、両面を使用してください。
2. ペンもしくはボールペン(黒又は青)書きとし、縦位置、横書きで作成してください。
3. 「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」「参考文献」の合計ページ数が100ページ以上300ページ以内になしてください。「扉」と「目次」はページ数には入りません。
4. 論文は、日本語で記述してください。ただし、引用部分等については、この限りではありません。

## II. 研究指導論文の書式

「仮表紙」「扉」「目次」「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」「参考文献」の順番で研究指導論文をセットしてください。

### 1. 仮表紙 (クロス表紙2枚) …クロス表紙・綴じ紐は、生協等で購入してください。

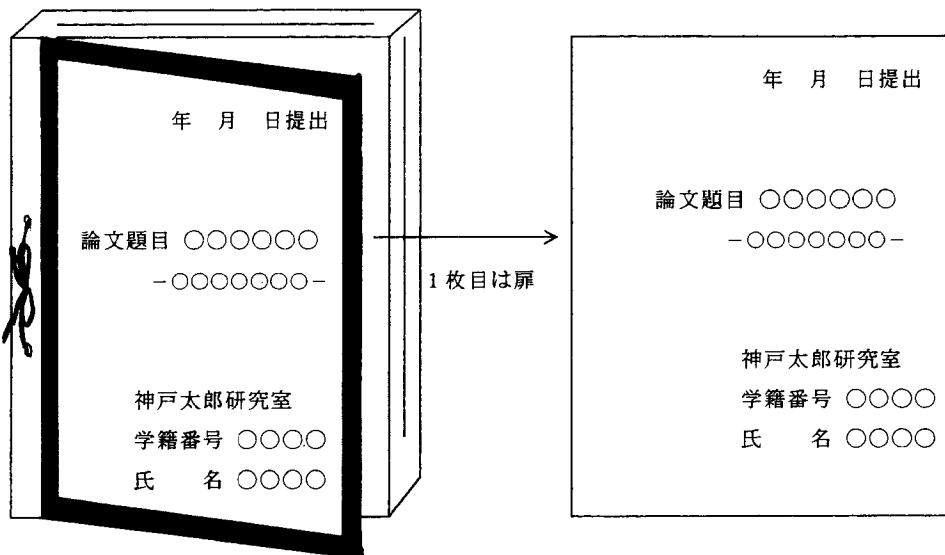
「仮表紙」作成にあたっては、次の点に注意してください。

- ① 綴じ紐で綴じてください。
- ② クロス表紙の表面はボールペン等で記入できませんので、「扉」をコピーして貼るか、ラベル用紙等を利用してください。

### 2. 扉

1. 仮表紙 (扉と同じものを貼る)

2. 扉 (開いて1枚目)



### 3. 目次 (合計ページ数に含まれないのでページ・ナンバーをつけないこと)

「目次」作成にあたっては、次の点に注意してください。

- ① 各章・各節などのタイトルを記入してください。
- ② 各章・各節にページ・ナンバーを記入してください。

目次	
まえがき又は序章……………	1 ← ページ・ナンバーを記入
第1章○○○○○……………	3
第1節○○○○○……………	3
第2節○○○○○……………	7
第2章○○○○○……………	15
第2節○○○○○……………	15
あとがき又は終章……………	40
参考文献……………	42

4. まえがき又は序章など（下にページ・ナンバーをつけること）

5. 本文（下にページ・ナンバーをつけること）

「本文」作成にあたっては、次の点に注意してください。

①章が終わり、次の章を書くときには、改ページをしてください。

②節が終わり、次の節を書くときには、2行空けてください。不必要な改行、改ページはしないでください。

③文章中に、不必要な余白を設けないでください。

④図表等は本文中に入れても構いませんが、図表を合計ページ数に含める場合には、指導教官の指導を受けてください。

⑤脚注は30行より下に書くか、章末に書いてください。

6. あとがき又は終章など（下にページ・ナンバーをつけること）

7. 参考文献（下にページ・ナンバーをつけること）

#### 日本語文献の場合

a) 著書

著者名（発行年）『書名』発行所，参照ページ。

例) 新庄 博（1952）『貨幣論』岩波書店，10-15頁。

b) 論文集

執筆者名（発行年）「論題」，編者『論文集名』巻号，発行所，参照ページ。

例) 速水 融（1967）「日本の経済的近代化における歴史的な前提」，慶應義塾大学経済学会編『日本の近代化』東洋経済新聞社，23-45頁。

c) 雑誌論文

執筆者名（発行年）「論題」『雑誌名』巻号，参照ページ。

例) 高須賀義博（1994）「再生産の局面分析」『経済研究』第25巻第3号，18-27頁。

外国語文献（英文の場合）邦訳がある場合には、原著の後に（ ）をつけて記してください。

a) 著書

著者名（発行年）書<sup>イタリック</sup>名，発行所：発行地，参照ページ。

例) N.H.Borden(1942) *The Economic Effects of Advertising*, Homewood: London, pp.1-20.

b) 論文集

執筆者名（発行年）“論題,” in 編集者, ed., 論文<sup>イタリック</sup>集名，発行所，参照ページ。

例) K.J.Arrow(1968)“Optimal Capital with Irreversible Investment,” in J.N.Wolfe, ed., *Value, Capital and Growth and Growth*, O. U. P., pp.1-20.

c) 雑誌論文

執筆者名（発行年）“論題,” 雑誌<sup>イタリック</sup>名，巻号，参照ページ。

例) T.M.Brown(1952)“Habit, Persistence and Lags,” *Econometrica*, Vol.38, No.3, pp.355-81.

(注) 日本語文献、外国語文献とも著者名または執筆者名に代わる「—」(ケイ)の長さは、4字分としてください。

例) ———, *The Economic Effects of* …

ホームページで閲覧し、雑誌、書籍など印刷形態になっていないと思われるものは、URL と（できれば）閲覧した日付を記入して下さい。

例) 日本銀行総裁記者会見要旨（2005年10月16日）

[http://www.boj.or.jp/press/05/kk0510c\\_f.htm](http://www.boj.or.jp/press/05/kk0510c_f.htm)（2005年12月10日閲覧）



## V. 経済学部からの注意

みなさんが、「研究指導論文」と「研究指導論文要旨」2部を、「所定の書式で」、「所定の期限までに」提出できないときは、経済学部は研究指導論文等を受理しません。

過去において、提出締め切り日の17時（昼間主コース）、20時（夜間主コース）の直前5～10分前に、経済学研究科 学部・大学院教務係へ来て、カウンターで作業を始めたり、書式不備を指摘され、結果として、「所定の書式で」提出するのが午後5時（昼間主コース）、午後8時（夜間主コース）を過ぎる学生がいました。経済学部は、「所定の期限」を1分でも過ぎれば、これらの人の研究指導論文等を受理しません。

書式不備の例としては、次のようなものがありました。

- ・仮表紙を作成していなかった。
- ・扉がなかった。
- ・目次を作成していなかった。
- ・目次のページ・ナンバーが抜けていた。
- ・「仮表紙」「扉」「目次」「まえがき又は序章など」「本文」「あとがき又は終章など」「参考文献」の順番でセットされていなかった。
- ・「まえがき又は序章など」、「本文」、「あとがき又は終章など」、「参考文献」の各ページの下にページ・ナンバーが付されていなかった。
- ・「研究指導論文要旨」が1部しかなかった。

書式不備を指摘されたときはそれを修正する時間を必要とするので、**時間の余裕をもって**

「研究指導論文」と「研究指導論文要旨」2部を、「所定の書式で」、「所定の期限までに」提出して下さい。